

平成二十七年四月二十七日 晴

二週間程前、謂はゆるイスラム國占據中のイラク北部にてニムルド遺蹟破潰の動畫配信あり。我等中學生となり、初めて學びたる西洋史はチギリス・ユーフラテス文明より始れり。後年そのニムルド遺蹟發見の物語を讀む機會もあり、人類の歴史的遺産失はるゝを悲しむ。數年前にはアフガニスタンにてバーミヤンの磨崖佛破潰せられ、何れも偶像を否定する宗教的行爲と呼號すと云々。無論一方にては「原理主義」の行過ぎを批判の世論あるも、兩者に妥協の餘地なかるべし。

十九世紀以降西歐の繁榮は自然科學に據る所大なること論を待たず。世界中此の效果を得むとて齊しく「科學」に走る。エンゲルス氏「科學的社會主義」を標榜するや、殆ど全ての學問「科學的」なるを唱ふ。「人文科學」、「生命科學」などこれなり。

然れども「科學」には冷嚴の掟あり。最初には如何なる假定も受容るゝと雖も、その前提より發する論理的歸結に現實との不整合明かとなるや、最初の假定は直ちに拋棄するを要す。此の嚴密なる思考手順、自然科學、特に物理、數學の分野に於て常識を覆す新しき概念の構築を可能とせること歴史に明らかなれば、次第に他の分野にも波及す。

此の思考方法慥かに劃期的なれば、人間、社會など人類の問題にも適用可能なるべしとてかの科學的社會主義注目を集む。但し茲に重大なる思考手順の變更あり、即ち社會主義理論往々現實社會に適合せざれば、本來は社會主義理論を破棄すべき所、逆に之に適合せざる現實社會こそ非なれとし、革命によりその不適合を解消せむとす。之原理主義の端緒にして二十世紀はその是非を求めて苦惱せるの時代なりつらむも、今日不可能と斷ぜざるを得ず。その理由は人間の多様性にあり、これを承認する志向、環境問題を中心に萌え廣こりたり。

我が國にては科學的社會主義は戰前禁止の對象なるを、敗戦後公認せられたる経緯もあり、博く知識人の支持を得。就中思考手順逆轉の發想深く滲透し、特に法律の適用に關して、その文言に拘り、逆に法律に定めあらざれば何の規制もなしとする法律萬能論も強力なり。集團的自衛權の論議も、現行憲法の下にて國家の自衛を如何にして實現するかを措きて、憲法文言との整合性のみ集中するは原理主義の論なり。

かくて偶像の否定と歴史的遺蹟との關係を考ふるに、從來此の兩者の共存は何の疑ひもなく諒解せられたるが故に、ニムルドの人物像も人類最古の文明の遺産として、同じ宗教國のイラクにて保存し來れり。「科學的」思考の結果たる原理主義、孰れか一方を否定せずんばならずと迫れば、遺蹟の破潰となるは必然なり。

科學の恩惠大なりと雖も、その思考方法は自然現象に限るべく、。多様な人爲にはよく／＼注意して用ゐるの要あり。